

# 情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する研究)

西暦 2017 年 4 月 14 日作成

<b>研究課題名</b>	神奈川県循環器救急患者の現状と予後に関する研究（神奈川県循環器救急 registry）
<b>研究の対象</b>	対象患者さんは、急性心筋梗塞で下記施設に来院した患者さんです。 当院の他、昭和大学藤が丘病院、聖マリアンナ医科大学、北里大学、東海大学、日本医科大学 武蔵小杉病院、関東労災病院、横浜栄共済病院、湘南鎌倉総合病院等の神奈川県的主要な基幹病院です。
<b>研究の目的</b>	神奈川県循環器救急患者の現状と予後に関する研究（神奈川県循環器救急レジストリー）の目的は、神奈川県全体を網羅する循環器救急さんを登録することにより、急性心筋梗塞の詳細な実態等を明らかにし、これらの情報をもとに将来の患者さんの治療に役立てたいと考えています。
<b>研究の概要</b>	カテーテル治療や集中治療の発達により、急性心筋梗塞患者さんの病院内での死亡率は 10% 以下になったものの、ここ数年はそれ以上の改善はみられておらず、非常に重要な課題として残っています。欧米では、急性心筋梗塞をはじめとする循環器救急疾患に関する、患者さんの予後（その後の生存率や合併症発生率など）を調べる研究は多数ありますが、我が国ではそういった研究は少なく、神奈川県全体でも急性心筋梗塞の患者さんがどれくらいいるのか、退院後元気に生活をされているか、といった登録研究はありません。よって、人種、生活環境、医療事情の全く異なる欧米のデータをもとに治療が行われているといった問題点が多数あります。神奈川県循環器救急患者の現状と予後に関する研究（神奈川県循環器救急レジストリー）の目的は、神奈川県全体を網羅する循環器救急さんを登録することにより、急性心筋梗塞の詳細な実態等を明らかにし、これらの情報をもとに将来の患者さんの治療に役立てたいと考えています。
<b>研究の方法</b>	本研究に登録させていただくと、あなたの心筋梗塞に関する情報や、1 年後の状態がどうなっているか等の情報をカルテから記録させていただきます。また、当院に通院されていない場合にはお電話をさせていただく場合もあります。本研究は疫学観察研究といわれ、通常の治療等の情報を登録するのみで通常の診療以外の特別な検査等はありません。
<b>研究期間</b>	西暦 2015 年 5 月 19 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日
<b>個人情報保護に関する配慮</b>	神奈川県的主要な基幹病院が共同で研究を行い、皆様のデータをまとめて解析させていただきます。そのデータは学会で発表したり論文として公表致しますが個人の情報は明らかになることはありません。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査科 <b>担当者の名前 海老名俊明</b></p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9162</p>	